

# グラウンドで、そして病院で、ユニフォームを着替えて 2つのフィールドを駆けるアス

Interview 01

## サッカーと医療の2つのフィールドで 活躍するアスリートを訪ねて。

緑豊かな田園地帯に、天然芝と人工芝の2面のサッカーグラウンドが広がっています。ここは千葉県原市にある、VONDSグリーンパーク。現在、関東女子サッカーリーグ1部に所属する強豪VONDS市原FCレディースの練習場で、公式戦も行われる市民のスポーツ拠点の一つです。今回このチームに所属する村上賀梨選手を訪ねました。村上選手はチームの要として活躍する傍ら、市内の病院で看護助手として地域医療に貢献しているマルチプレイヤーです。「私には姉が二人いて、姉たちが先にサッカーをしていたので、気づいたら私もボールを蹴っていたという感じです。それ以来、小学校からずっとサッカーを続けてきました」。



VONDS市原FCレディース 所属/  
医療法人社団緑祐会 永野病院 勤務

村上 賀梨 選手

Interview 02

## ユニフォームを着替えて、 気持ちも切り替えて患者様の元へ。

いつも目の前の壁に精一杯ぶつかってここまで来た、という村上選手。サッカー選手としての今の目標は、「現在は、昨年から一つ上がった関東女子サッカーリーグ1部での昇格初年度の優勝を目指しています」。そのチームにはさらに大きな目標があり、「現在所属しているリーグの一つ上、なでしこリーグに昇格して、その舞台で思い切りプレーをすることです」。そして彼女にはサッカー選手の他に、看護助手というもう一つの顔があります。「基本的には午前中からお昼1時までが病院の勤務で、3時から6時頃までがサッカーの練習です。病院では入院患者様の入浴の介助や身体の清拭、ベッドシーツの交換、環境整備などが主な仕事です。動きっぱなしで体力勝負ということもあり、食事や睡眠には特に注意を払っています」。



▶アシックスメディカルユニフォーム&シューズ  
着用品番/スクラブ CHM359 (P.35)・シューズ 1A032 (P.55)

# 活躍するアスリート。 リート医療従事者。



Interview 03

## スポーツテクノロジーで ハードな医療現場の動きをサポート。

そんな村上さんに、医療従事者の動きをサポートするアシックスのメディカルユニフォームを実際に着用していただきました。腕の上げ下ろしや動きやすさを向上させるカッティング技術「ライトニングシェイプ」採用のウエアで、もともとはバレーボールウエアとして開発されトップ選手からも高く評価されたものを、医療現場の動きに応用して設計されました。「着た印象は、まず体にしっかりフィットし、それでいて生地をつっぱり感がなく、腕をスムーズに動かせるので上げ下ろしがラクです。ポケットも大きくて使いやすいですね。カラーもデザインも可愛いです」。

村上 賀梨



Interview 04

## グラウンドでも病院でも、 足元はアシックスがしっかりサポート。

シューズも、従来のものとアシックスメディカルシューズを履き比べていただきました。「中敷にクッション性があり、とても軽く履き心地が良いです。仕事中は頻繁に立ったりしゃがんだりするので、週末近くになると足が疲れてきますが、アシックスに替えてからは足への負担が少なくなりました」。村上さんはサッカースパイクもアシックス。「高校の時にアシックスに出会って、私の足に合ったのでそれ以来、他のスパイクは履けなくなりました」。グラウンドでも病院でも、彼女の足元には常にアシックスが寄り添い、最高のパフォーマンスができるよう支えています。これからも目標に向かって走り続ける村上選手から目が離せません。

〒290-0167  
千葉県原市喜多890-1  
VONDS市原FCレディース  
<https://vonds.net/>

